

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2017年度事業報告
 (2017年4月1日～2018年3月31日)

【概 括】

I 組織

2017年度会員目標を126,000人とし、会員総数は128,910人(対前年度比・約7%増)※グラフ1となった。目標は、8月末時点で達成した。ながのサポート協会及び愛媛県サポート協会が2017年度より「生活サポート総合補償制度」の補償を開始したことと、当会が設立10年を経て、制度そのものがクチコミ等でも広がってきていることも一因ではないかと推察される。

現在、未加盟団体は岡山県、広島県、島根県の3県のみであるが、3県とも少額短期保険業者として運営している。今後も近隣のサポート協会及びジェイアイシーグループの支援をいただき、3県の動きを注視しながら加盟を促進していく。

グラフ1 会員数の推移



表1 ブロック別会員数の推移

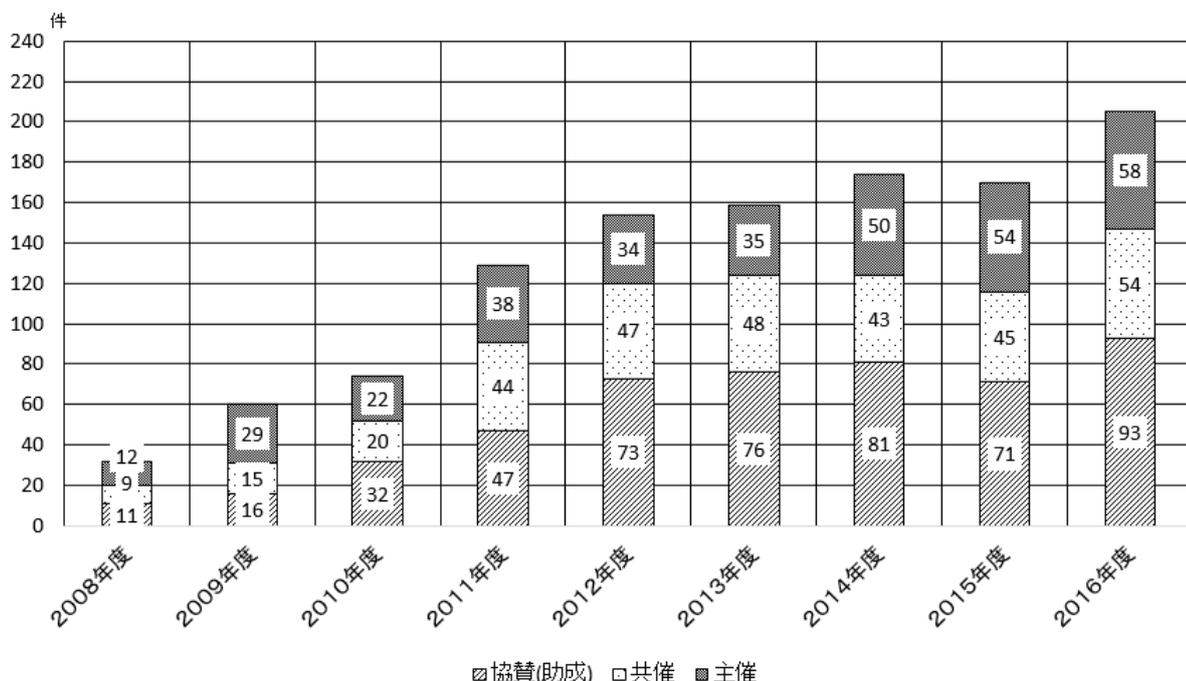
| ブロック名 | 補償開始時(2007.4) | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|--------------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 北海道ブロック | - | 369 | 1,296 | 1,567 | 1,714 | 1,876 | 2,513 | 3,118 | 3,815 | 4,792 | 4,766 | 5,164 |
| 東北ブロック | 2,821 | 3,938 | 5,419 | 6,609 | 8,252 | 8,947 | 9,563 | 10,131 | 10,568 | 12,062 | 11,985 | 12,591 |
| 関東甲越ブロック | 16,173 | 20,402 | 32,440 | 33,568 | 34,868 | 36,103 | 37,284 | 38,353 | 39,633 | 43,619 | 43,303 | 45,179 |
| 中部ブロック | - | 8,277 | 9,414 | 10,443 | 11,003 | 11,379 | 12,048 | 13,041 | 13,850 | 17,555 | 17,445 | 19,083 |
| 近畿・中国・四国ブロック | - | - | 5,917 | 7,311 | 8,426 | 11,079 | 11,864 | 13,067 | 13,940 | 24,971 | 24,758 | 28,266 |
| 九州ブロック | - | 4,702 | 8,099 | 10,044 | 10,971 | 11,766 | 12,827 | 14,302 | 15,030 | 17,670 | 17,519 | 18,627 |

II 事業

1 サポート協会における事業の実施

サポート協会の事業報告及び決算書より、事業の実施数は(170事業→

205事業（約20%増）、1サポート協会の事業費にかかる費用平均（108万円→110万円（2%増））となった。ほとんどのサポート協会が毎年同様の事業を行っている中、一部のサポート協会では、本人参加型の主催事業を行うようになってきている。



2 ブロック会議

(1) 協議事項

ア 6ブロックで開催し、各サポート協会が実施している事業について発表した。

イ 今後も安定した「生活サポート総合補償制度」を維持するための施策について協議を行った。2018年度からの新プラン「生活・就労サポート総合補償制度」をどうアピールし若年層の会員を増やすか、今後の保険料率を改善するためにはどのような方策が考えられるか等を協議した。

ウ 2010年度に行った「運営実態調査」を再度実施し、2010年度との違いを検証した。要望等の回答については、第2回理事会後に各サポート協会宛てにメールで送付した。

(2) その他

関東甲越及び、中部ブロック会議では、2017年度アールブリュット展の募集において、当該ブロックの3作品が入賞したため、入賞者の表彰式を行った。（群馬県、埼玉県、富山県各1作品）

3 啓発事業

(1) 会報誌「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行

7月1日付で発行し、45サポート協会及びジェイアイシーグループ等に138,900部を送付した。

最終ページに2018年度「生活サポート総合補償制度」改定（Cプラン）の概要について掲載した。

(2) 広告掲載

ア 集会

- ① 日本知的障害者福祉協会
「全国知的障害関係施設長等会議」
「全国知的障害福祉関係職員研究大会」
「全国生産活動・就労支援部会職員研修会」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会
「第4回全国大会」

イ 冊子

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」（年間）
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」（年間）

ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

(3) ホームページ

「お知らせ」ページにおいて、国や他団体からの福祉関係の情報、アールブリュット展で応募のあった全作品を掲載した。

2017年9月からホームページのリニューアル作業を開始し、2018年3月初めより新しいホームページを公開した。リニューアルにより、セキュリティ強化、SNSへの新着情報の同期、タブレット及びスマートフォン対応となった。

当初は2017年12月末にはリニューアルが終了する予定であったが、2018年3月まで伸びてしまった。前ホームページにおいて2016年度末に「サポート協会及びブロックの活動」のページにシステムの脆弱性見つかったため、該当ページは閉鎖していた。そのため「サポート協会及びブロックの活動」ページは、リニューアル完成までほぼ1年間、公開できなかった。

4 「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策

2017年度は、安定した制度の継続、AIG・JIC・全国サポート協会との三位一体体制、設立当初の想いについて再認識する1年となった。

制度安定のためには保険利用率の改善が最重要課題となっており、さまざまな施策を行った。

(1) 「生活サポート総合補償制度 病気予防&事故防止」冊子、リスクマップの作成

障害者が安心して生活していただくためには病気予防・事故防止は重要な一面であり、このことにより保険利用率が改善されれば、制度の安定にもつながる。

施設関係者等に施設利用者の病気予防や事故防止の改善を促すために、冊子及びリスクマップを作成し、サポート協会経由で配布した。

活用についてアンケートを行いブロック会議資料としたが、配布直後だったため、予定配布数のみの記述にとどまった。そのため、再度アンケートを実施する予定である。

(2) 三者プロジェクト（拡大MVP委員会）

2017年度当初にAIU（現AIG）より2019年度の保険料率改定の提案があった。その後、ブロック会議や三役会等でAIU（AIG）、JICと協議を重ねた。結果、2019年度には改定を行わず、2020年度に保険料改定を主とする改善策を実施する方向となった。そのためにAIG・JIC・全国サポート協会による「三者プロジェクト」を立ち上げ、改善策について協議し、三者の合意を得てすみやかに実行することになった。

「三者プロジェクト」は拡大MVP委員会として、AIG、JICの「生活サポート総合補償制度」の担当者、全国サポート協会代表者（正副理事長、MVP委員）の三者が集まり、第1回会議を2018年2月に行い、今後の方向性等について協議を行った。3月には各サポート協会にAIG、JICの地区担当者が出向き三者会議を行い、意見収集を行った。

5 小規模サポート協会支援

2017年8月末現在で会員数500人以下のサポート協会に対し、規定した金額の助成を行った。2018年度以降も支援を継続する。

6 「会員管理システム」の利用〈適正な会員の情報管理〉

AIU・富士火災合併に伴うシステム変更により、新規の住所データに不要なスペースが入り改善の要望があった。AIU（現AIG）でのシステムの改善が不可能であったため、「会員管理システム」にデータを取り込む際に自動で不要なスペースを消す、システムの追加を行った。

また、2018年度からのCプラン追加に伴うシステム改定を、2018年1月末に完了した。

7 サポート協会の定款等の変更及び会計報告の改善

2017年度の総会時には、すべてのサポート協会から国税庁から指摘のあった改善内容に変更済の規程、収支報告書を提出していただいた。

2017年8月29日に江幡監事、園部補償制度アドバイザー（当時）、田口事務局長が国税庁に出向き、改善が完了した旨の説明を行った。国税庁からは、概ねの了承をいただいた。

8 2018年度「生活サポート総合補償制度」改定

2017年度当初から全国知的障害特別支援学校校長会や研修会で新プランの説明等を行った。その後、就労事業所や特別支援学校に出向きCプランの説明会等を行う等、積極的にCプランの説明を行っている県もあった。

AIU・富士火災合併による保険会社の社名変更のため、Cプランを含む2018年度分パンフレットの配布が可能になったのは2018年1月からという状況であった。しかし、2017年度の早くから、それぞれのサポート協会及びJIC担当者が工夫し、対応を行っていた。

9 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の会議等に参加した。

当会ではアールブリュット作品展を行っており、2017年度は募集作品を「動物作品」とし、64作品が集まった。当会ホームページの「お知らせ」に作品展として全作品を掲載した。総会での投票の結果、入賞作品は、群馬県、埼玉県、富山県の3作品となった。入賞者には、当会から賞状とともにAIU（現AIG）及びJICより副賞が授与され、入賞作品は広報誌「サポ協だより」にも掲載した。

10 事業助成（試行事業）

2017年度より各サポート協会の主催事業に最高額10万円の助成を行うこととなった。

申請のあった事業についてMVP委員会で協議し、6サポート協会に総額521,000円の事業助成を行った。

1 1 入会金廃止及びサポート協会→全国サポート協会への保険料入金時における振込手数料の全国サポート協会負担（2018年度総会承認事項）

以前より一部のサポート協会から要望があった入会金廃止についてMVP委員会で協議を行っており、臨時三役会において2018年度から実施することとなった。これに伴いサポート協会が全国サポート協会へ保険料を入金する際の振込手数料を全国サポート協会が負担することとなった。

各サポート協会へは、2017年12月に連絡を行った。

2018年3月（2018年度4月加入入金分）から実施であるが、最終承認は2018年度社員総会となる。

【事業内容】

1 2017年度定時社員総会

日 時：2017年6月6日（火）12:30～14:30

場 所：品川区立総合区民会館 イベントホール

議案事項：・2016年度事業報告及び決算報告・監査報告
・役員改選 他

2 理事会

| | 日時 | 場所 | 内容 |
|-----|------------------------------|---------------------------|--|
| 第1回 | 2017年5月10日（水） 13:00～16:00 | 品川区立総合 区民会館 中会議室 | ・2016年度事業報告、決算報告、監査報告 ・事業助成実施要項について ・役員改選について 他 |
| 臨時 | 2017年6月6日（火） 14:30～14:45 | 品川区立総合 区民会館 イベントホール | ・代表理事（理事長）、副理事長選定 |
| 第2回 | 2018年3月6日（火） 13:00～16:30 | 品川区立総合 区民会館 中会議室 | ・入会金廃止等 ・2017年度事業等の評価・反省 ・2018年度事業計画(案) ・定款・規程等の変更(案) 他 |

3 三役会

| | 日時 | 内容 |
|-----|-------------------------------|--|
| 第1回 | 2017年4月6日(木) 13:00~16:45 | ・2016年度事業報告、決算報告、監査報告 ・2018年度「生活サポート総合補償制度」改定及び2019年度保険料率改定について 他 |
| 第2回 | 2017年8月3日(木) 14:00~16:30 | ・2019年度保険料率改定等について ・ブロック会議協議事項 等 |
| 臨時 | 2017年9月21日(木) 13:30~17:15 | ・2019年度保険料率改定(ブロック会議での報告)等 ・「関越地区 事務職員向勉強会」報告 |
| 臨時 | 2017年10月2日(月) 15:30~18:00 | ・2019年度保険料率改定(ブロック会議での報告) |
| 第3回 | 2017年12月14日(木) 13:30~17:10 | ・MVP委員会報告 ・ブロック会議報告 等 |
| 第4回 | 2018年2月8日(木) 13:30~16:30 | ・2017年度事業等の評価・反省 ・2018年度定時社員総会(案) ・2018年度事業計画・予算(案) 他 |

※ 開催場所：第1~3回 (一社)全国知的障害児者生活サポート協会 事務所
第4回 新宿NSビル 会議室

4 MVP委員会・三者プロジェクト

第1回MVP委員会

日時：2017年10月2日(月) 13:30 ~ 15:30

場所：(一社)全国知的障害児者生活サポート協会 事務所

内容：・当会での事業展開について
・事務局員給与及び役員報酬について

三者プロジェクト(拡大MVP委員会)

日時：2018年2月8日(木) 10:00 ~ 12:00

場所：新宿NSビル14F AIG損保会議室

内容：・三者プロジェクト概要等
・各サポート協会三者会議の開催及びアンケート実施について

5 ブロック会議

・第7回北海道ブロック会議

2017年10月11日(水) 14:30~16:50

札幌市 道民活動センター かでる2. 7 110会議室

- ・第11回東北ブロック会議
2017年11月16日(木) 13:20~17:00
山形県 銀山温泉 能登屋旅館
- ・第12回関東甲越ブロック会議
2017年10月19日(木) 13:30~17:00
茨城県 ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸
- ・第11回中部ブロック会議
2017年11月22日(水) 13:30~17:00
三重県 四日市商工会議所会館
- ・第10回近畿・中国・四国ブロック会議
2017年11月10日(金) 13:30~17:00
京都府 からすま京都ホテル
- ・第11回九州ブロック会議
2017年12月1日(金) 14:00~17:00
鹿児島県 鹿児島サンロイヤルホテル

6 研修会

日時：2017年6月6日(火) 14:45~16:45
 場所：品川区立総合区民会館 イベントホール
 内容：2018年度「生活サポート総合補償制度」改定
 説明 AIU損害保険(株) (現AIG損害保険(株))
 (株)ジェアイシー

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2017年度収支計算書 一運営の部一

2017年4月1日から2018年3月31日まで

収入

(単位：円)

| 大科目 | 中科目 | 決算額 | 予算額 | 予算額増減 | 摘要 |
|-------|-----|------------|------------|-----------|---|
| 運営費収入 | | 28,927,500 | 26,627,600 | 2,299,900 | |
| | 入会金 | 3,307,500 | 1,599,300 | 1,708,200 | 300円×11,025人=3,307,500円 |
| | 年会費 | 25,620,000 | 25,028,300 | 591,700 | 200円×127,290人=25,458,000円 100円×1,620人=162,000円 |
| 雑収入 | 雑収入 | 40 | 1,000 | △960 | 普通預金利息 |
| 前期繰越金 | | 19,759,467 | 19,759,467 | 0 | |
| | 合計 | 48,687,007 | 46,388,067 | 2,298,940 | |

支出

| 大科目 | 中科目 | 決算額 | 予算額 | 予算額増減 | 摘要 |
|-----|--------|------------|------------|------------|----------------------------------|
| 事業費 | | 4,768,795 | 5,395,000 | △626,205 | |
| | 入会金返金 | 2,700 | 9,000 | △6,300 | 脱退・二重払込等による入会金の返金 |
| | 年会費返金 | 12,700 | 16,000 | △3,300 | 脱退・二重払込等による年会費の返金 |
| | 事業助成 | 521,000 | 1,000,000 | △479,000 | 6サポート協会助成 |
| | 組織強化費 | 53,200 | 50,000 | 3,200 | 小規模サポート協会への支援金 |
| | 啓発宣伝費 | 2,268,533 | 2,000,000 | 268,533 | 広告掲載、HPリニューアル 7-ルブ'リュット賞状作成費等 |
| | 研修費 | 0 | 50,000 | △50,000 | |
| | 助成金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | ブロック活動費補助金(6ブロック) |
| | MVP委員会 | 355,158 | 600,000 | △244,842 | MVP委員旅費等 |
| | 就労支援 | 0 | 70,000 | △70,000 | |
| | 支払手数料 | 555,504 | 600,000 | △44,496 | 振込手数料・ネットバンク利用料 |
| 管理費 | | 24,494,993 | 26,504,000 | △2,009,007 | |
| | 人件費 | 4,508,600 | 4,583,000 | △74,400 | 職員2名分 |
| | 法定福利費 | 403,444 | 452,000 | △48,556 | 社会保険料等 |
| | 福利厚生費 | 138,030 | 210,000 | △71,970 | 購読料、健康診断等 |
| | 総会費 | 3,111,422 | 4,630,000 | △1,518,578 | 総会(交通費、会場費)等 |
| | 会議費 | 1,668,093 | 2,000,000 | △331,907 | 理事会、三役会、委員会 (会場、交通費)等 |
| | 旅費交通費 | 1,483,310 | 1,530,000 | △46,690 | ブロック会議、通勤手当職員2人分等 |
| | 賃借料 | 2,089,800 | 2,090,000 | △200 | 家賃、更新料 |
| | 水道光熱費 | 92,520 | 105,000 | △12,480 | 水道、電気料 |
| | 通信運搬費 | 234,206 | 320,000 | △85,794 | 電話、切手、宅配便等 |
| | 環境管理費 | 113,050 | 147,000 | △33,950 | 事務所管理費(セコム)、事務所財産保険 |
| | リース料 | 250,516 | 251,000 | △484 | 事務機器 |
| | 印刷製本費 | 836,254 | 900,000 | △63,746 | 会報作成費用等 |
| | 消耗品費 | 373,346 | 368,000 | 5,346 | 複合機使用料、事務用品費他 |
| | 会員管理費 | 480,090 | 497,000 | △16,910 | 会員管理費、AIGT'送料 |
| | 顧問・指導料 | 1,112,400 | 1,080,000 | 32,400 | 顧問3名分、社会保険労務士指導料 |
| | 租税公課 | 80,600 | 111,000 | △30,400 | 税金、法務局変更登記申請手数料 |
| | 渉外費 | 393,312 | 100,000 | 293,312 | 慶弔・慶弔旅費、JIC祝金、贈答品等 |
| | 引当金 | 120,000 | 120,000 | 0 | 退職引当金 |
| | 積立金 | 7,000,000 | 7,000,000 | 0 | 定期預金 |
| | 雑費 | 6,000 | 10,000 | △4,000 | 法人会会費等 |
| 予備費 | 予備費 | | 14,489,067 | 4,934,152 | |
| 繰越金 | 次期繰越金 | 19,423,219 | | 19,423,219 | |
| | 合計 | 48,687,007 | 46,388,067 | 2,298,940 | |

2017年度収支計算書 ー保険料の部ー

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：円)

| 大 科 目 | 中 科 目 | 決 算 額 | 予 算 額 | 予 算 額 増 減 | 摘 要 |
|-------|---------|---------------|---------------|-------------|--------|
| 収入 | 預り保険料収入 | 2,098,075,220 | | | 下記のとおり |
| | 保険料 | 2,088,102,620 | 1,964,297,320 | 123,805,300 | |
| | 返戻金 | 9,972,600 | | | |
| 支出 | 預り保険料出 | 2,098,075,220 | | | |
| | 保険料 | 2,088,102,620 | 1,964,297,320 | 123,805,300 | |
| | 返戻金 | 9,972,600 | | | |

※保険料の部 摘要詳細

| | |
|-----|---|
| 保険料 | <p>合計金額内訳 保険料(会員数)合計2,088,102,620円(128,889人分) 2,087,045,670円(128,826人分)「2017年4月から2018年1月入金までの2017年度保険料」 +1,056,950円(63人分)「2018年3月入金(2018年度保険料)」</p> <p>参考：「2017年度保険料合計」(128,910人分) 2,087,045,670円(128,826人分)「2017年4月から2018年1月入金までの2017年度保険料」 +1,459,040円(84人分)「2017年3月入金(2017年度保険料4月加入分の一部)」 =2,088,504,710円</p> |
| 返戻金 | 内訳 9,972,600円(サポート協会振込) |

貸借対照表

2018年 3月31日現在

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|------------|------------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 19,461,207 | 19,994,386 | △ 533,179 |
| 流動資産合計 | 19,461,207 | 19,994,386 | △ 533,179 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 16,253,720 | 9,252,936 | 7,000,784 |
| 基本財産合計 | 16,253,720 | 9,252,936 | 7,000,784 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職金積み立て | 510,000 | 390,000 | 120,000 |
| 特定資産合計 | 510,000 | 390,000 | 120,000 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 什器備品 | 1 | 38,496 | △ 38,495 |
| 保証金 | 675,000 | 675,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 675,001 | 713,496 | △ 38,495 |
| 固定資産合計 | 17,438,721 | 10,356,432 | 7,082,289 |
| 資産合計 | 36,899,928 | 30,350,818 | 6,549,110 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 前受入金 | 0 | 22,500 | △ 22,500 |
| 前受年会費 | 12,400 | 16,800 | △ 4,400 |
| 預り金 | 25,588 | 195,619 | △ 170,031 |
| 流動負債合計 | 37,988 | 234,919 | △ 196,931 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 510,000 | 390,000 | 120,000 |
| 固定負債合計 | 510,000 | 390,000 | 120,000 |
| 負債合計 | 547,988 | 624,919 | △ 76,931 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| (うち基本財産への充当額) | 16,253,720 | 9,252,936 | 7,000,784 |
| (うち特定資産への充当額) | 510,000 | 390,000 | 120,000 |
| 正味財産合計 | 36,351,940 | 29,725,899 | 6,626,041 |
| 負債及び正味財産合計 | 36,899,928 | 30,350,818 | 6,549,110 |

正味財産増減計算書

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 入年会費収入 | 3,307,500 | 4,274,700 | △ 967,200 |
| 雑受取付利息 | 25,620,000 | 23,812,900 | 1,807,100 |
| 寄附金 | 824 | 550 | 274 |
| | 824 | 550 | 274 |
| | 0 | 1,500,000 | △ 1,500,000 |
| 経常収益計 | 28,928,324 | 29,588,150 | △ 659,826 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 4,768,795 | 3,750,004 | 1,018,791 |
| 入年会費 | 2,700 | 4,200 | △ 1,500 |
| 人事費 | 12,700 | 16,000 | △ 3,300 |
| 組啓費 | 521,000 | 0 | 521,000 |
| 研助M十支管 | 53,200 | 98,200 | △ 45,000 |
| | 2,268,533 | 815,604 | 1,452,929 |
| | 0 | 40,160 | △ 40,160 |
| | 1,000,000 | 600,000 | 400,000 |
| | 355,158 | 300,090 | 55,068 |
| | 0 | 1,334,746 | △ 1,334,746 |
| | 555,504 | 541,004 | 14,500 |
| | 17,494,993 | 15,768,391 | 1,726,602 |
| | 4,508,600 | 4,732,000 | △ 223,400 |
| | 403,444 | 427,287 | △ 23,843 |
| | 138,030 | 77,401 | 60,629 |
| | 3,111,422 | 2,034,523 | 1,076,899 |
| | 1,668,093 | 1,340,323 | 327,770 |
| | 1,483,310 | 1,435,842 | 47,468 |
| | 2,089,800 | 1,944,000 | 145,800 |
| | 92,520 | 82,799 | 9,721 |
| | 234,206 | 269,578 | △ 35,372 |
| | 113,050 | 147,070 | △ 34,020 |
| | 250,516 | 245,737 | 4,779 |
| | 836,254 | 797,594 | 38,660 |
| | 373,346 | 324,200 | 49,146 |
| | 480,090 | 433,320 | 46,770 |
| | 1,112,400 | 1,112,400 | 0 |
| | 80,600 | 102,100 | △ 21,500 |
| | 393,312 | 196,217 | 197,095 |
| | 120,000 | 60,000 | 60,000 |
| | 6,000 | 6,000 | 0 |
| | 38,495 | 38,496 | △ 1 |
| | 0 | 640,000 | △ 640,000 |
| | 0 | 300,000 | △ 300,000 |
| | 0 | 340,000 | △ 340,000 |
| 経常費用計 | 22,302,283 | 20,196,891 | 2,105,392 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 6,626,041 | 9,391,259 | △ 2,765,218 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 6,626,041 | 9,391,259 | △ 2,765,218 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 6,626,041 | 9,391,259 | △ 2,765,218 |
| 一般正味財産期首残高 | 29,725,899 | 20,334,640 | 9,391,259 |
| 一般正味財産期末残高 | 36,351,940 | 29,725,899 | 6,626,041 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 2 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 36,351,940 | 29,725,899 | 6,626,041 |

【基本方針】

1 理念

Mission (ミッション・使命) = 知的障害児者生活サポート

Vision (ビジョン・将来像) = 全国 (組織)

Passion (パッション・熱情) = 協会 (熱い情の協働体)

2 組織では、全国サポート協会と各サポート協会間の一層の連携

3 事業では、当会定款第2条 (目的・事業) を実施・継続

4 AIG損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

【活動内容】

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会また必要に応じて三役会等を開催する。

(1) 定時社員総会 1回

(2) 理事会 2回

2 事業の実施

当会は、定款第2条の知的障害児者・自閉症児者 (以下「障害者」という) とその家族の生活安定と福祉の推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

① 障害者とその家族の生活安定のための各種の事業

② 障害者の各種制度に関する調査研究並びに意見具申

③ 社員の役職員の研鑽等、社員の健全な発展に資する各種の事業

④ 社員の発展に必要な援助及び指導

⑤ その他、当会の目的を達成するために必要な事業

(1) 相談支援事業の実施

ブロック活動の促進に協力

全国の6ブロックでは、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、補助金を助成する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催し、必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」にて、サポート協会の運営及び事業の参考になるような内容やブロック会議の情報を随時報告する。

(2) 啓発事業の実施

ア 会報誌「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回
社員（団体）が行っている事業等を会員向け情報として発信する

イ ホームページ

2017年度リニューアルのため公開できなかった「サポート協会及びブロック会議の活動」にてサポート協会の事業を一般に広く公開し、社員には必要な情報を即時発信する。ホームページ更新時の発信には、SNS等も利用する。

ウ 広告掲載

(ア) 集会

- ① 日本知的障害者福祉協会「施設長等会議（東京都：7月2日～3日）」「全国職員研究大会（山口県：11月14日～16日）」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「全国大会（京都府：2019年2月23日～24日）」

(イ) 冊子

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぼーと」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

(ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

エ 「生活サポート総合補償制度」ポスター作成

2009年に作成した「生活サポート総合補償制度」ポスターについて、作成後の当会法人登記、AIGの社名変更等、古くなったため作成しなおす。

(3) 組織強化の実施

ア 三者プロジェクト（「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策）

現在、「生活サポート総合補償制度」の長期的安定のために、保険利用率の改善が最重要課題である。三者プロジェクトにおいては、そのための施策について三者（AIG損保・JIC・全国サポート協会）で協議を行う。

(ア) 新規会員の増員

会員（加入者）の目標は、2018年度136,000人とする。

2018年度より就労者向けのプランが増え、若年層の新規会員（加入者）の開拓がより重要となってきたため、特別支援学校卒業生、企業就労者やNPO法人等へのアプローチをすすめていく。

AIG損保・JICと各サポート協会とで、どのような働きかけを行っていくのか情報を共有し、会員増をめざす。

(イ) 病気予防やケガ・事故防止の施策

2017年度に「生活サポート総合補償制度 病気予防&事故防止」冊子、リスクマップを作成し配布を行った。

2018年度は、冊子やリスクマップが有効に活用されているかを確認していくとともに、(病気予防やケガ・事故防止に)有効な研修等を実施し、病気予防やケガ・事故防止につなげていく。

(ウ) 保険金の請求要件の明確化

施設におけるケガ、付添介護など、適正に保険金の請求が行われているか三者で検証を行う。

イ サポート協会(社員)加盟の促進

全都道府県の当会加盟をめざし、未加盟の3県(岡山、広島、島根)へのサポート協会(社員)設立の働きかけを近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

(4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な会員(加入者)の情報管理に努める。

3 小規模サポート協会への支援

小規模サポート協会<会員(加入者)数500人以下>へ基盤強化・拡大を図るため、引き続き支援する。

・支援内容 年間 会員(加入者)1人200円

・会員(加入者)数の基準日 毎年8月31日(現在)

尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円

(500人を超えた年度で支援終了)

4 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体として、障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業を推進していく。

当会では、アールブリュット作品展を実施し、全作品を当会ホームページに掲載する。また、入賞作品を2019年度分のパンフレット及び会報誌(サポ協だより)に掲載する。

5 MVP委員会の実施

(1) 各サポート協会の主催事業支援助成について協議する。

(2) MVP委員は三者プロジェクトの各ブロック代表者として、AIG損保・JICとともに「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策について協議する。

《試行事業》

1 サポート協会事業実施への助成

2017年度より、各サポート協会が行っている主催事業に対して全国サポート協会から総額100万円の助成を行うこととした。しかしながら、

2017年度の助成実績は50万円程度であった。

2018年度は2017年度より予算を増額し、さらに多くの助成申請を行っていただけるように広報活動を行う。

2 就労支援事業

今後の実施について検討する。

【具体的活動計画】

| 年 | 月 | 日 | 曜 | 会議名 | ブロック会議 全国サポート協会 出席者 | | | |
|------|----|----|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------|--------------------------|
| 2018 | 4 | 9 | 月 | 監査 | | | | |
| | | 10 | 火 | 拡大 MVP 委員会(三者プロジェクト) 第1回三役会 | | | | |
| | | 27 | 金 | 2018年度第1回理事会 | | | | |
| | 5 | 29 | 火 | 2018年度定時社員総会 | | | | |
| | 6 | 15 | 金 | 拡大 MVP 委員会(三者プロジェクト) 臨時三役会 | | | | |
| | | | | 9 | | 6 | 木 | MVP 委員会 (事業助成) |
| | 7 | 金 | 拡大 MVP 委員会(三者プロジェクト) 第2回三役会 | | | | | |
| | 10 | 12 | 金 | 北海道ブロック会議(札幌市) | | 正副理事長 補償制度アドバイザー 事務局長 | | |
| | 11 | 1 | 木 | 東北ブロック会議(秋田県) | | | | |
| | | | | 8 | | | 木 | 近畿・中国・四国ブロック会議 (和歌山県) |
| | | | | 22 | | | 木 | 中部ブロック会議(石川県) |
| | | | | 26 | | | 月 | 九州ブロック会議(ひのくに・熊本県) |
| | 29 | 木 | 関東甲越ブロック会議(栃木県) | | | | | |
| 12 | | | 第3回三役会 | | | | | |
| 2019 | 2 | | | 拡大 MVP 委員会(三者プロジェクト) 第4回三役会 | | | | |
| | | | | 3 | | | 2018年度第2回理事会 | |

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2018年度収支予算書 ー運営の部ー

2018年4月1日から2019年3月31日まで

収入

(単位：円)

| 大 科 目 | 中 科 目 | 2017年度予算額 | 2018年度予算額 | 増 減 | 摘 要 |
|-------|-----------|------------|------------|-------------|--|
| 運営費収入 | | 26,627,600 | 27,133,700 | 506,100 | |
| | 入 会 金 | 1,599,300 | 99,000 | △ 1,500,300 | 300円×330人=99,000 |
| | 年 会 費 | 25,028,300 | 27,034,700 | 2,006,400 | 200円×134,347人=26,869,400 100円× 1,653人= 165,300 計27,034,700円 |
| 雑 収 入 | 雑 収 入 | 1,000 | 1,000 | 0 | 利息 |
| 繰 越 金 | 前 期 繰 越 金 | 19,759,467 | 19,423,219 | △ 336,248 | 2017年度繰越金 |
| | 合 計 | 46,388,067 | 46,557,919 | 169,852 | |

支出

| 大 科 目 | 中 科 目 | 2017年度予算額 | 2018年度予算額 | 増 減 | 摘 要 |
|-------|-------------|------------|------------|-------------|----------------------------|
| 事 業 費 | | 5,395,000 | 8,764,000 | 3,369,000 | |
| | 入 会 金 返 金 | 9,000 | 9,000 | 0 | 脱退・二重払込等による入会金の返金 |
| | 年 会 費 返 金 | 16,000 | 16,000 | 0 | 脱退・二重払込等による年会費の返金 |
| | 事 業 助 成 | 1,000,000 | 2,000,000 | 1,000,000 | サポート協会主催事業助成 |
| | 組 織 強 化 費 | 50,000 | 64,000 | 14,000 | 小規模サポート協会への支援金 |
| | 啓 発 宣 伝 費 | 2,000,000 | 3,000,000 | 1,000,000 | 広告掲載、HP維持、ポスター作成費等 |
| | 研 修 費 | 50,000 | 250,000 | 200,000 | 研修会講師謝礼等 |
| | 助 成 金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | ブロック活動費補助金(6ブロック) |
| | M V P 委 員 会 | 600,000 | 1,000,000 | 400,000 | 委員会旅費等 |
| | 就 労 支 援 | 70,000 | 150,000 | 80,000 | 就労支援説明出張費等 |
| | 支 払 手 数 料 | 600,000 | 1,275,000 | 675,000 | 振込手数料等 |
| 管 理 費 | | 26,504,000 | 18,340,000 | △ 8,164,000 | |
| | 人 件 費 | 4,583,000 | 4,875,000 | 292,000 | 職員2名分、事務局長社会保険手当 |
| | 法 定 福 利 費 | 452,000 | 500,000 | 48,000 | 社会保険料等 |
| | 福 利 厚 生 費 | 210,000 | 210,000 | 0 | 購読料、健康診断等 |
| | 総 会 費 | 4,630,000 | 2,600,000 | △ 2,030,000 | 総会(交通費、会場費)等 |
| | 会 議 費 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | 理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等 |
| | 旅 費 交 通 費 | 1,530,000 | 1,530,000 | 0 | ブロック会議、通勤手当職員2名分等 |
| | 賃 借 料 | 2,090,000 | 1,944,000 | △ 146,000 | 家賃 |
| | 水 道 光 熱 費 | 105,000 | 105,000 | 0 | 水道、電気料 |
| | 通 信 運 搬 費 | 320,000 | 300,000 | △ 20,000 | 電話、切手、宅配便等 |
| | 環 境 管 理 費 | 147,000 | 148,000 | 1,000 | 事務所管理費(セコム)、事務所財産保険 |
| | リ ー ス 料 | 251,000 | 251,000 | 0 | 事務機器 |
| | 印 刷 製 本 費 | 900,000 | 1,100,000 | 200,000 | 会報作成費用等 |
| | 消 耗 品 費 | 368,000 | 859,000 | 491,000 | 複合機使用料、公益法人会計ソフト購入費、事務用品費等 |
| | 会 員 管 理 費 | 497,000 | 497,000 | 0 | 会員管理費、AIGTへの送料 |
| | 顧 問 ・ 指 導 料 | 1,080,000 | 1,080,000 | 0 | 顧問3名分 |
| | 租 税 公 課 | 111,000 | 111,000 | 0 | 税金、法務局変更登記申請手数料 |
| | 渉 外 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 慶弔・贈答品等 |
| | 引 当 金 | 120,000 | 120,000 | 0 | 退職引当金 |
| | 積 立 金 | 7,000,000 | 0 | △ 7,000,000 | 定期預金→固定資産へ |
| | 雑 費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 法人会費等 |
| 予 備 費 | | 14,489,067 | 19,453,919 | 4,964,852 | |
| | 合 計 | 46,388,067 | 46,557,919 | 169,852 | |

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2018年度収支予算書 ー保険料の部ー

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

| | 大 科 目 | 2017年度予算額 | 2018年度予算額 | 増 減 | 摘 要 |
|-----|-------|---------------|---------------|-------------|--|
| | | | | | 2018年度会員(加入者)目標 136,000 人 会員(加入者)数は前年度月別比で算定し、保険料に 乗算 プランA 4月 14,810 円 × 84,386 人 = 1,249,756,660 5月 13,140 円 × 365 人 = 4,796,100 6月 11,960 円 × 575 人 = 6,877,000 7月 10,750 円 × 274 人 = 2,945,500 8月 9,550 円 × 197 人 = 1,881,350 9月 8,370 円 × 171 人 = 1,431,270 10月 7,190 円 × 151 人 = 1,085,690 11月 5,980 円 × 231 人 = 1,381,380 12月 4,780 円 × 130 人 = 621,400 1月 3,600 円 × 102 人 = 367,200 2月 2,400 円 × 90 人 = 216,000 合計 86,672 人 1,271,359,550 プランB 4月 19,810 円 × 39,614 人 = 784,753,340 5月 15,320 円 × 483 人 = 7,399,560 6月 13,930 円 × 569 人 = 7,135,260 7月 12,540 円 × 377 人 = 4,199,780 8月 11,140 円 × 226 人 = 2,201,240 9月 9,740 円 × 167 人 = 1,397,790 10月 8,370 円 × 201 人 = 1,402,980 11月 6,980 円 × 245 人 = 1,362,200 12月 5,560 円 × 180 人 = 754,200 1月 4,190 円 × 156 人 = 436,800 2月 2,800 円 × 110 人 = 308,000 合計 42,328 人 811,351,150 プランC 4月 19,430 円 × 6,815 人 = 132,415,450 5月 17,510 円 × 30 人 = 525,300 6月 15,940 円 × 46 人 = 659,180 7月 14,330 円 × 22 人 = 280,280 8月 12,740 円 × 16 人 = 178,400 9月 11,150 円 × 14 人 = 133,980 10月 9,570 円 × 12 人 = 95,520 11月 7,960 円 × 19 人 = 121,030 12月 6,370 円 × 11 人 = 52,580 1月 4,780 円 × 8 人 = 25,520 2月 3,190 円 × 7 人 = 22,330 合計 7,000 人 134,509,570 |
| 収 入 | 保 険 料 | 1,964,297,320 | 2,217,220,270 | 252,922,950 | |
| 支 出 | 保 険 料 | 1,964,297,320 | 2,217,220,270 | 252,922,950 | 同 上 |